



一日清掃で集められたごみの山

とすると、持って出かけた荷物は減らない、家に置くごみが多くなる。そこで、ついポイと……。

大量のごみはなぜ？

毎年2回行っている町内一日清掃のとき、各地区から大量のごみが集められます。なぜこんなに多いのでしょうか？
地区の役員さんは「うちの地区の人は絶対捨てていない。

守ろう我がまちの自然環境

ちよつとした心遣い

よその人が通りがかりに捨てて行く。」と言います。

右ページのグラフは、あきカンの投げ捨てる理由を調べたものです。

「自分の近くだけはきれいにしたい。よその人のところは汚してもかまわない。」
と思っている人が多
いんですね。

魚たちは苦しんでいます

干潮になり、すっかり干上がった栗山川の川底で、時折ピシャッ、ピシャッと水が出てくる一つのあきカンがあり、よく見ると、カンの中には魚（イナ）が住んでいました。イナは小さいときに、このあきカンを外敵から身を守る家にしていたようです。が、大きくなり今度は外に出られなくなり、カンの中に流れ込む餌を食べて成長し、カンの長さを超えてしまったため背骨も曲がっていました。

また、輪ゴムの中に首を通



川底で魚たちは苦しんでいます

し、その部分だけがくびれているイナ（魚の首つてあつたかな？）を釣ったこともありました。

釣り人Aさんの話

釣りに限らず、外出したときのごみは必ず家まで持って帰ってください。人間にはさまざまなことでも自然は大変迷惑しています。ちよつとした心遣いで、我がまちの自然環境は守れます。

豊かな自然があればこそ人間の生活が成り立っていることを今一度考えてみたいものです。